

科目名 (Eng)		技術経営論 (Management of Technology)								
担当教員		松本 行真								
対象学年等	専攻・学年		授業期間・区分・単位数・時間数				分野	形態	学修単位科目	
	各専攻共通専門関連科目	2	前期	必修	2	(30)	関連	B		
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(C-3). (C-4). (C-6). (D-1). (D-3). (D-4). (D-5).									
	修了時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：3). 4).									
授業の概要と方針		市場ニーズをどう見出して、技術とマッチングさせ、事業化、商品化していくか。その手法とプロセスについて学んだ上で、チームによりアイデア探索を行う。								
到達目標		学ぶ点は以下の通り。 新事業開発のプロセス 調査企画の作り方 情報収集のやり方とまとめ方								
授業計画										
週	授業項目	理解すべき内容				事前学習				
前期	1	イントロダクション	新事業開発とは							
	2	新事業開発とは何か					提示課題の作成（以下同）			
	3	新事業開発のプロセス（1）	新事業開発のためのフレームワーク							
	4	新事業開発のプロセス（2）	市場機会探索の方法							
	5	新事業開発のプロセス（3）	事業機会評価の方法							
	6	新事業開発のプロセス（4）	開発戦略シナリオの作成方法							
	7	新事業開発のプロセス（5）								
	8	開発立案とリサーチ（1）	定量的アプローチの方法							
	9	開発立案とリサーチ（2）	定性的アプローチの方法							
	10	開発テーマ探索（1）	実習の進め方、情報収集とまとめ方							
	11	開発テーマ探索（2）								
	12	開発テーマ発表								
	13	新事業アイデア探索（1）	アイデア創出方法							
	14	新事業アイデア探索（2）								
	15	商品コンセプト素案発表								
試験について		前期期末試験（100分）を実施する。								
評価方法		前期期末試験の成績を70%、課題を30%として総合的に評価する。								
教科書		『製品・新事業開発の創造的マーケティング 開発情報探索のマネジメント』、石川編、生産性出版								
参考書		『マーケティング・サイエンス入門』、古川・守口・阿部、有斐閣アルマ 『新事業開発の論理と実際』、竹山元一、日本マーケティング研究所								
関連科目		ベンチャービジネス論								
履修上の注意		自学自習の確認方法：授業の予習或いは復習などの課題プリントを配布し、定期的に提出を求める。								